



奥山慎次

福岡県事業引継ぎ支援センター統括責任者
福岡県事業承継支援ネットワーク事務局長

おくやま・しんじ／直方市出身、1961年6月19日生まれ58歳、近畿大学短期大学商経科卒業後、会計事務所勤務。2000年に独立して中小企業の経営支援を手がけ、15年4月から福岡県事業引継ぎセンター統括責任者に就任。昨年7月から一般社団法人福岡県中小企業診断士協会副会長を務める。趣味は吹奏楽

支援ネットワーク構築と専門家の育成で急増するニーズに対応

「昨年4月から中小企業庁が10年限定の事業承継集中支援をスタートし、5月には各専門機関で構成された福岡県事業承継支援ネットワークが設立されました。その後の反応はいかがでしょうか。」

奥山 2018年度の相談件数は前期比およそ1.6倍で142件増となる386件まで大幅に増加しました。引継ぎ完了件数においても前期比4件増の25件を完了しています。累計では94件が引継ぎ完了しており、今年度での100件突破は間違いありません。小規模企業の企業を志す個人への事業承継を支援する後継者人材バンクも、登録者数207人まで伸ばしてきました。今年度もすでに5件の引継ぎ完了しており、事業承継に対する認知と理解の向上は着実に進んでいるという実感です。また、福岡県事業承継支援ネットワークにおいても事業承継診断実施件数3530件、個者支援企業86社の実績を残しており、中小企業の事業承継の現状把握とスムーズな承継を支援する役割を担っています。

「大きな成果を上げられています。今後の課題は。」

奥山 何よりも事業承継の支援者育成が求められています。現状の支援者数ではこれから急増する事業承継の案件数にはとても対応できません。ですから、支援者育成も我々が担う大きな役割です。

今年3月には大手監査法人とタイアップして、士業を主な対象に

M&A支援者としての育成と、事業引継ぎ支援センターの新たなスキームである「M&A専門家サポート」の登録者養成の両面から「M&A専門家養成講座」を開催しました。参加者は117人に上り、9月21日、22日に第2回講座を開催する予定です。

「民間に専門家が增えることでますます事業承継の機運は高まりますね。」

奥山 事業承継は民間企業、特に中小企業が中心ですので、士業がM&Aの実務力を身につけることで、民間の躍動感が大きくならなければいけません。

また、事業承継の相談で多いのは経営状態が悪化している小規模事業者です。経営状態の良い会社は黙っていても売れますから。我々の使命はそういった困っている事業者の経営を救う手伝いをするところで、雇用を守り、地域の活性化に貢献することです。福岡県の中小企業は約14万社あり、ニーズの掘り起こしはまだ不足しています。専門機関の連携による支援のネットワークや、専門家育成によって、1社でも多くの企業の承継を支援していきます。

中小企業の事業承継を促進する 福岡県事業承継支援ネットワークが設立

ネットワーク統括
(福岡県商工部長)

【事務局】

福岡県

福岡県事業引継ぎ
支援センター

〔ネットワーク運営会議〕
「支援機関」4地域中小企業支援協議会、商工会議所連合会、商工会連合会、中小企業振興センター、中小企業団体中央会、中小企業基盤整備機構、福岡県事業引継ぎ支援センター
「金融機関」福岡銀行、西日本シティ銀行、筑邦銀行、北九州銀行、福岡中央銀行、佐賀銀行、信組協会、信金協会、日本政策金融公庫、商工中金、信用保証協会
「専門家団体」弁護士会
「行政」福岡県、市町村

福岡地域中小企業
支援協議会

北九州地域中小企業
支援協議会

筑後地域中小企業
支援協議会

筑豊地域中小企業
支援協議会

支援機関

金融機関

専門家団体

行政



個別の事情に応じて、税務、法務等の外部専門家の助言も得られるようアレンジします。

福岡県事業承継支援ネットワーク事務局

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2丁目9-28 福岡商工会議所ビル8F

ホームページ

福岡県事業引継ぎ支援センター内 TEL 092-409-0022 <http://f.fjgyonw.com/>

